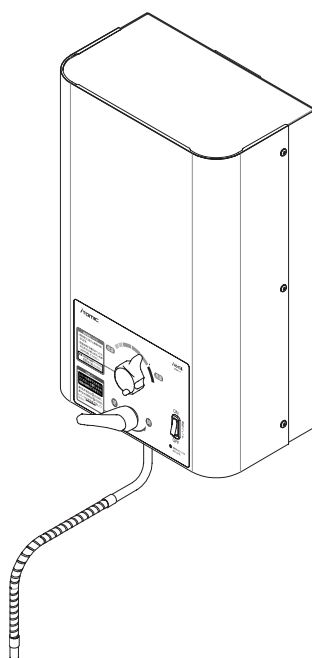


工事要領・取扱説明書

製品名：壁掛貯湯式電気温水器(元止式)

型 式：EWM-14



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事(試運転)後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
(この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、
弊社は一切責任を負いません。)

株式会社 **イトミック**

〒130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル
TEL:03 (3621) 2121 (大代表) FAX:03 (3621) 2130
フロント課 (修理依頼承り先)
TEL:03 (3621) 2161(代表) FAX:03 (3621) 2163

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
iHOT14（型式：EWM-14）について	5
各部名称	5
仕様一覧	6
工事要領	8
施工前にご確認ください	9
1. 部品の確認	9
2. 設置場所の確認	10
施工する	11
1. 設置工事	11
2. 配管工事	14
3. 電気工事	15
4. 施工後の確認	16
試運転を行う	17
1. 温水器に給水する	17
2. 試運転を行う	19
3. 試運転後の確認	20
取扱説明	22
使用方法	23
1. 使用前の準備と確認	24
2. 運転する	24
3. 出湯する	26
長期間使用しないときは（排水の方法）	28
お手入れの方法	32
保守点検項目と実施の目安	32
漏電遮断器の動作確認	33
外装のお手入れ	33
こんなときは	34
アフターサービス	36
消耗品の定期交換について	36
補修用性能部品について	36
修理をご依頼の際には	36

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みにになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。



警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



△の記号は、注意(警告を含む)を払う必要のある事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左図の場合は『高温注意』という意味です。)



○の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
○の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項：必ずお守りください

警告



アース(D種接地)工事を確認してください。
アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。



電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。
火災の原因となります。

必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。
万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。

電源プラグ付属の漏電遮断器の動作を必ず確認してください。
万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。

100V 15A以上のコンセントを専用でお使いください。
火災のおそれがあります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
火災のおそれがあります。

排水は必ず本体の電源を切ってから行ってください。
感電のおそれがあります。



交流100V以外で使用しないでください。
火災、感電の原因となります。

屋外に設置しないでください。
感電、故障の原因となります。

アース線はガス管や水道管、および電話線や避雷針のアースに接続したり、他の電気機器のアースと共用しないでください。
火災や爆発など事故の原因となります。

本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。
発火のおそれがあります。

濡れた手で電源の操作を行わないでください。
感電のおそれがあります。

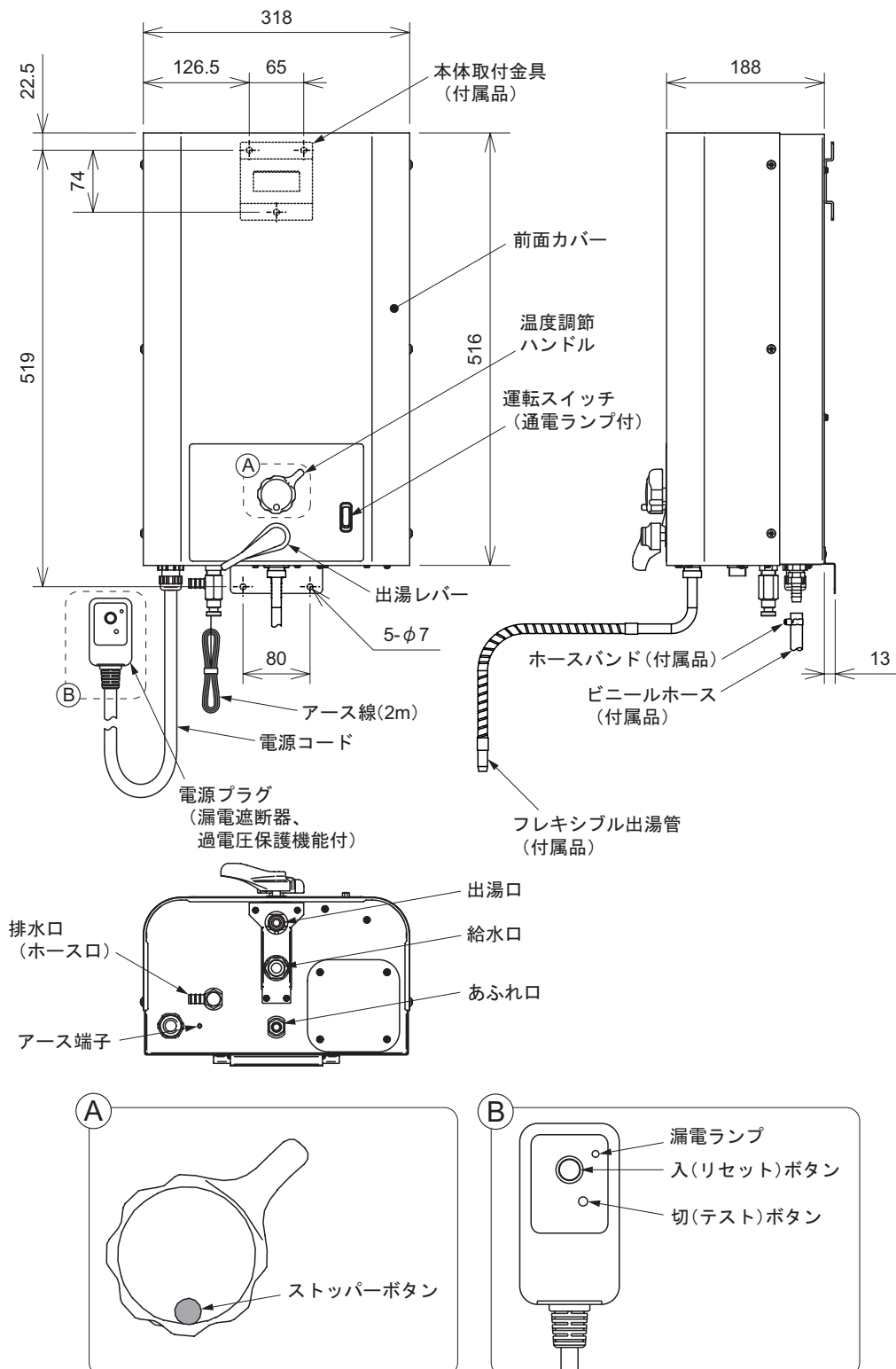
⚠警告	
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、湯槽破損やケガの原因となります。
	湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。飲用する場合は、必ず一度やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	出湯管の先端は絶対にふさがらないでください。また、出湯管に泡沫器具やホース・浄水器など取り付けしないでください。 あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
	あふれ口の先端は絶対にふさがらないでください。 湯槽や配管が破損して漏水や故障の原因となります。
	出湯レバーは途中で止めないでください。 あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
	温水器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。 故障の原因となります。
	給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	給水接続配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。 誤動作、故障の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 配管が破損するおそれがあります。
	長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 水質が悪化するおそれがあります。
電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。 感電、発火のおそれがあります。	

iHOT14(型式:EWM-14)について

イトミックのEWM-14は、85℃の沸かし上げを行う元止式の壁掛型電気温水器です。

各部名称(単位:mm)



仕様一覧

定 格	電 圧	単相 100V
	周 波 数	50 / 60Hz
	消 費 電 力	701W
貯 湯 量		14 L
沸 き 上 が り 温 度		約 85℃ (湯槽からの放熱などにより、実際の出湯温度は低くなります)
給 水 方 式		元止式
給 湯 方 式		押し上げ落差式
給 水 圧 力		0.1 ～ 0.5MPa
出 湯 流 量		約 3.5 L / 分 (調整不可)
使 用 水 温		1 ～ 40℃
周 囲 温 度		1 ～ 40℃
湿 度		10 ～ 60% (但し結露のないこと)
設 置 場 所		屋内
接 続 部	給 水 接 続 口 径	G1/2 オネジ (15A)
	排 水 接 続 口 径	適合ホース内径 12mm
安全装置	漏 電 防 止	電源プラグ (漏電遮断器、過電圧保護機能付)
	空 焚 き 検 知 ・ 過 昇 温 防 止	バイメタル式
本体寸法 W × D × H (mm)		318 × 188 × 516
満 水 質 量		約 23kg

※沸き上がり時間の目安はP.25を参照してください。

共通項目

MEMO

工事要領

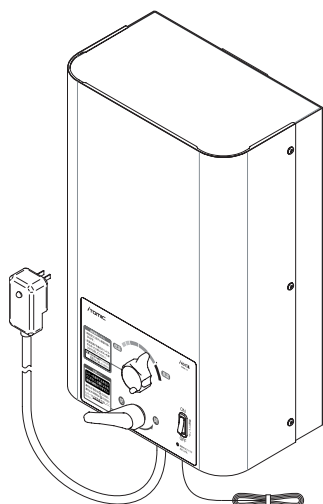
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

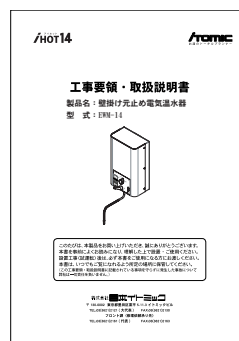
1. 部品の確認

【本体および付属品】

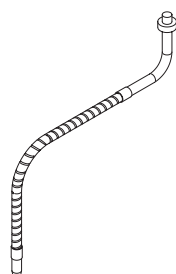
EWM-14 本体



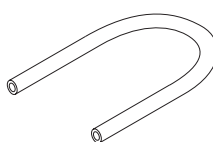
付属品



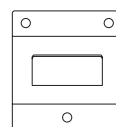
工事要領、取扱説明書 × 1
(この冊子です。当冊子は工事終了後、
ご使用になられる方へお渡しください。)



フレキシブル出湯管 (長さ: 400mm)
(パッキン、袋ナット付) × 1



ビニールホース
(長さ: 600mm、口径: 12mm) × 1



本体取付金具 × 1



木ネジ × 5

ホースバンド × 1
取付寸法図 × 1

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品

- ① 漏電ブレーカ 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
- ② 止水栓 排水やリセット操作時に給水を止めるため必要です。
- ③ ステンレスフレキ管 温水器を取り外せるよう施工するために必要です。
- ④ 給水管 温水器と接続するために必要です。
- ⑤ ストレーナー 温水器内へのゴミの流入を防止します。
- ⑥ パッキン、シールテープ 配管接続部分から漏水させないために必要です。
パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。
ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。

上記①～⑥は必ずご用意ください。

- ⑦ 本体取付板・・・・・・軟質壁(ベニヤ板・化粧板・プラスボードなど)に温水器を取付けるために必要です。大きさは幅 200 ～ 300mm、厚さ 20mm 以上のものを用意してください。長さは取付け状況に合わせて決定してください。
- ⑧ 補強板、補強金具・・・軟質壁(ベニヤ板・化粧板・石膏ボードなど)に温水器を取付けるために必要です。
- ⑨ AY プラグボルト・・・硬質壁(コンクリートなど)に本体取付金具を取付けるために必要です。ボルト径 M5

上記(⑦～⑨)は取付け状況に合わせてご用意ください。

関連商品(弊社にてお求めいただけます。)

長さ違い出湯管・・・・・・500mm、800mmをご用意しております。
一軸型減圧弁 いちじく・・・給水圧力が0.5MPaを超える場合は、必ず取付けてください。
(iJG-K)

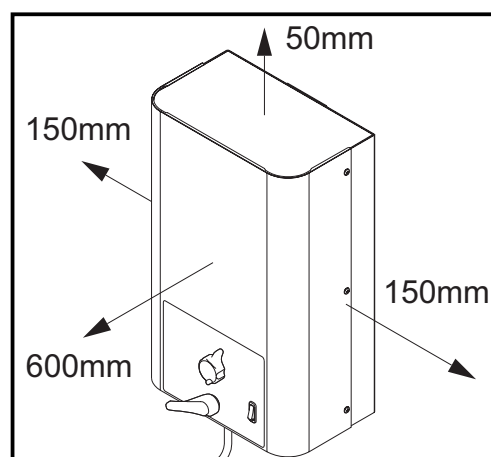
2. 設置場所の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
凍結対策	冬季にも凍結しない場所ですか？ 冬季に凍結する場合、凍結防止処置が必要になります。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	☐
本体まわり	温水器のすぐ下にガスコンロなどの燃焼器具はありませんか？ 安全のため、燃焼器具の近くには設置できません。	☐
取付壁面	垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量(約 23kg)に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1 ～ 0.5MPaの範囲内ですか？ 温水器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	☐

EWM-14のメンテナンススペース

本製品のメンテナンス用スペースは、機器に対して上方に50mm、左右に150mm、前方に600mmです。



施工する

1. 設置工事

⚠ 警告	
⊘	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
⚡	湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。

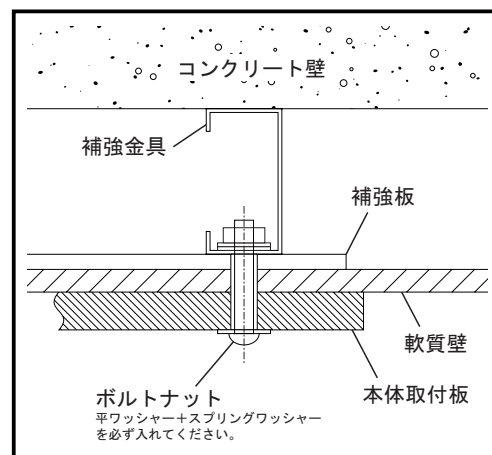
⚠ 注意	
❗	温水器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。 故障の原因となります。

電気温水器の設置

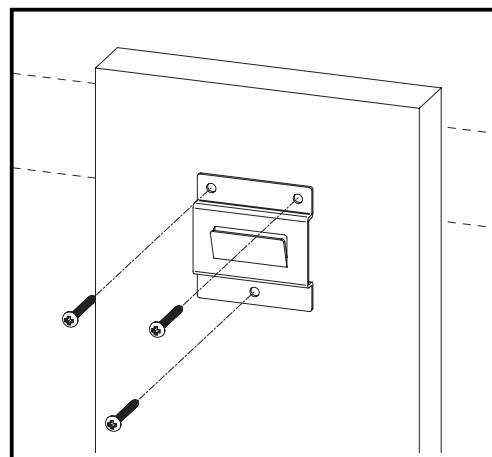
【軟質壁（ベニヤ板・化粧板・石膏ボードなど）に取付ける場合】

- ① 補強板や補強金具などで壁面を補強し、本体取付板を壁面に取付けます。

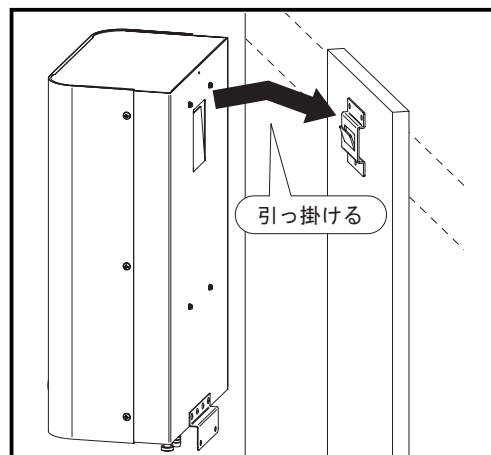
※ 取付寸法は付属の『取付寸法図』で確認してください。



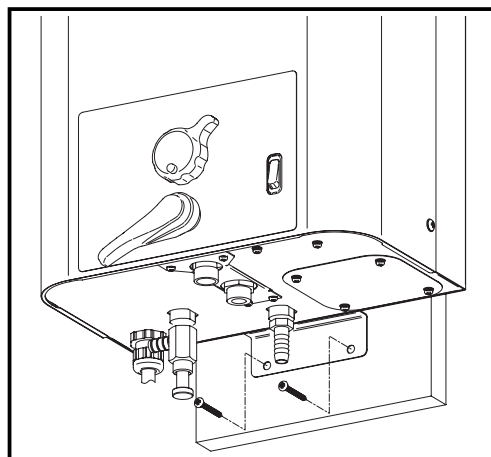
- ② 付属の木ネジで本体取付金具を本体取付板に固定します。



- ③ 温水器を本体取付金具に引っ掛けます。



- ④ 付属の木ネジで温水器本体を本体取付板に取付けます。



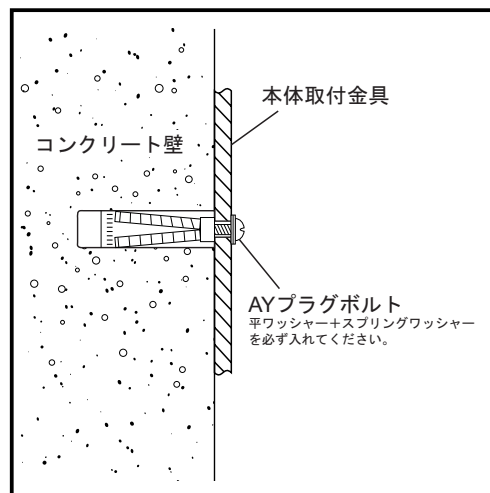
工事要領

施工する

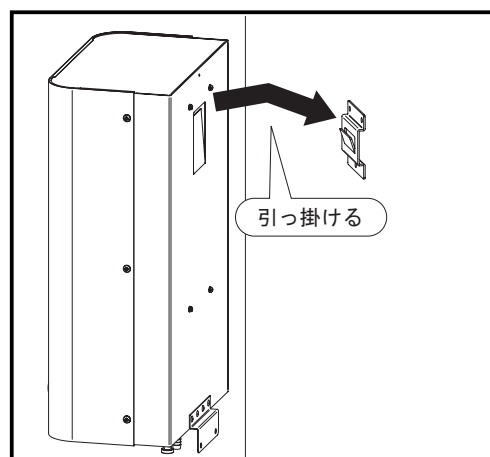
【硬質壁(コンクリートなど)に取付ける場合】

① AY プラグボルトで本体取付金具を直接壁面に取付けます。

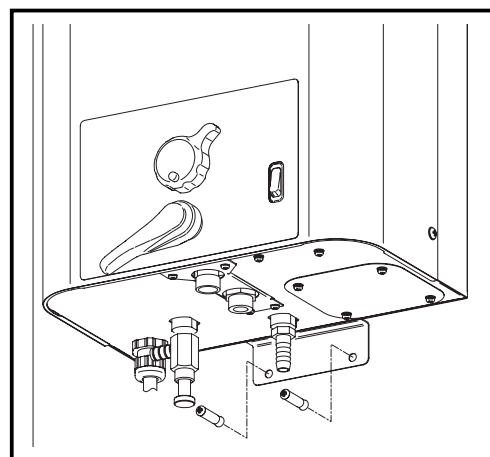
※取付寸法は付属の『取付寸法図』で確認してください。



③ 温水器を本体取付金具に引っ掛けます。



④ AY プラグボルトで温水器本体を壁面に取付けます。

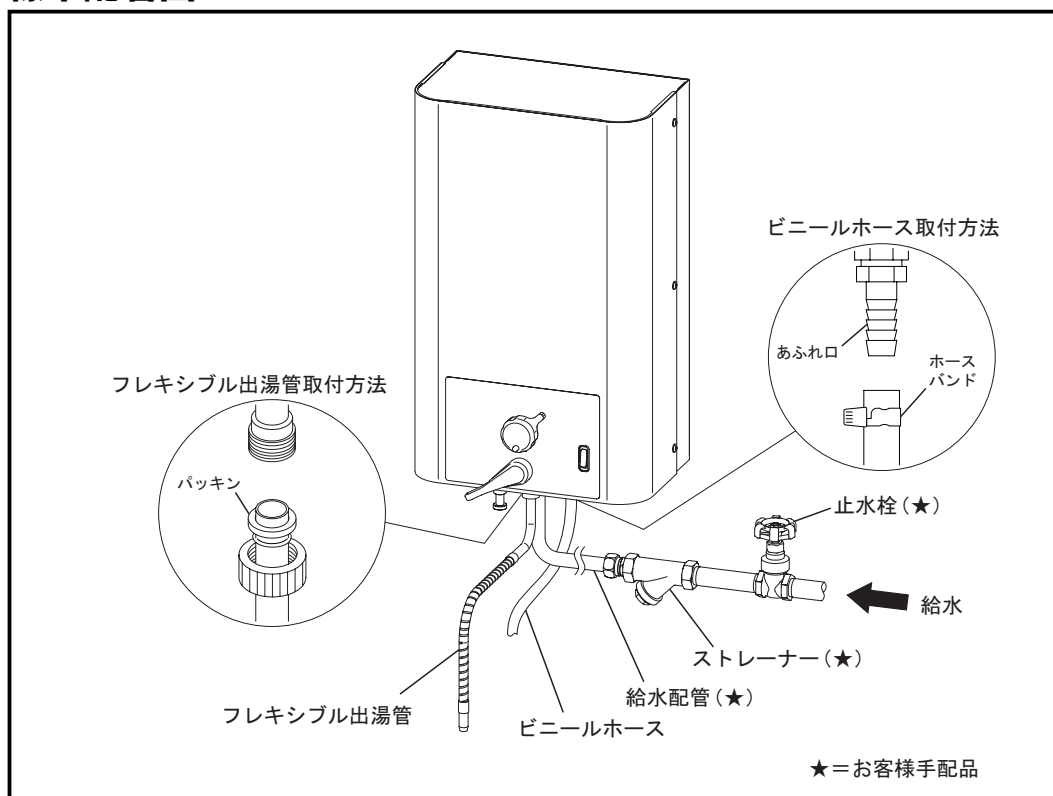


2. 配管工事

⚠注意	
⊘	温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
!	給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。 誤動作、故障の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 配管が破損するおそれがあります。

①下記の標準配管図を参考に配管を行ってください。

標準配管図

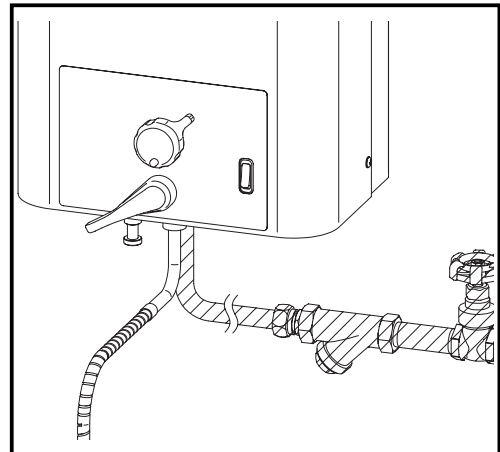


※ 1：沸かし上げ中はビニールホースから水蒸気や水滴が出ますので、排水口空間を確保しシンク等へ向けて接続してください。

※ 2：排水管は耐熱性のものを使用してください。

凍結防止処置

室温が0℃以下(氷点下)になるおそれがあるときは、右図の斜線部(止水栓以降から給水口までの間)に凍結防止処置を施してください。



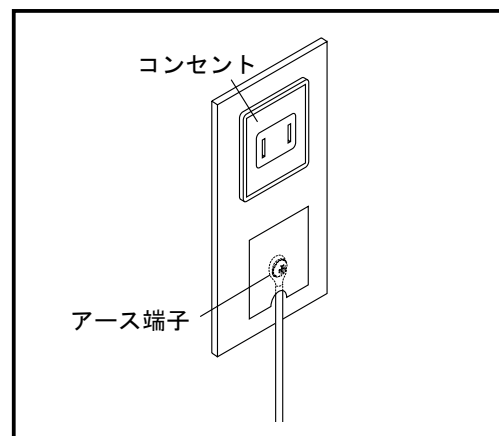
3. 電気工事

⚠ 警告	
⚡	アース (D 種接地) 工事を確認してください。 アース工事がされないと故障、漏電発生時に感電するおそれがあります。
!	電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
!	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
⊘	アース線はガス管や水道管、および電話線や避雷針のアースに接続したり、他の電気機器のアースと共用しないでください。 火災や爆発など事故の原因となります。
✂	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、湯槽破損やケガの原因となります。

①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

②アース端子が接続してあることを確認してください。

※接続されていない場合は、必ず管理技術者の方に依頼して取付けてください。



4. 施工後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置工事	温水器にがたつきはありませんか？	☐
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
	フレキシブル出湯管の接続部分にゆるみはありませんか？	☐
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
	D種接地工事は正しく行われていますか？	☐

試運転を行う

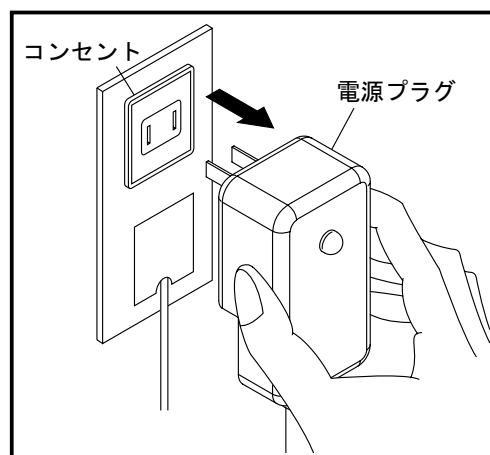
⚠注意	
⊘	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
!	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。 誤動作、故障の原因となります。
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。 感電、発火のおそれがあります。

1. 温水器に給水する

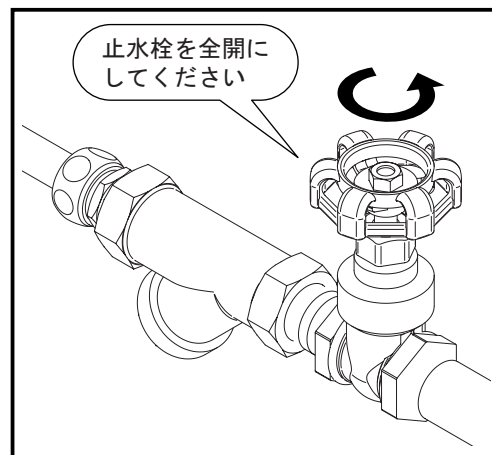
- ① 運転スイッチがOFF になっていることを確認してください。



- ② 電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。

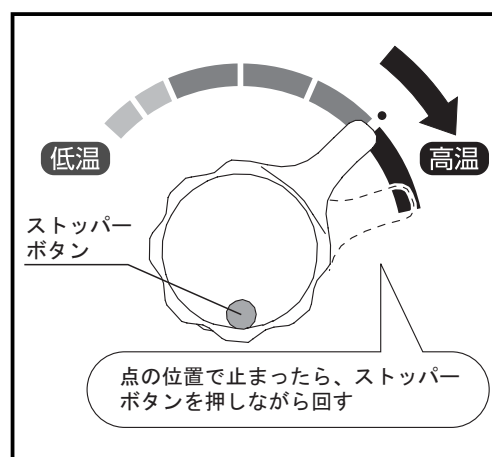


③止水栓を全開にします。



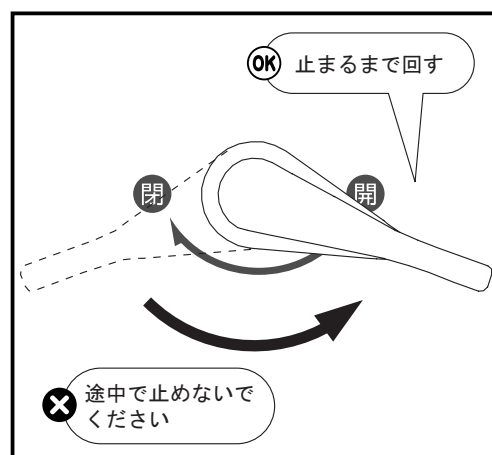
④温度調節ハンドルを**高温**に合わせます。

※点の位置から右（高温範囲）へはストッパーボタンを押しながら回してください。

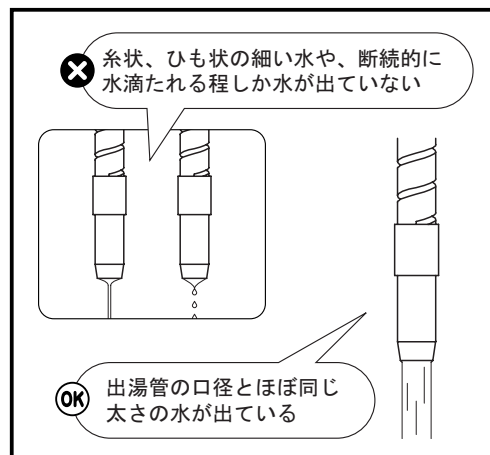


⑤出湯レバーを**開**の方向に止まるまで回します。

※レバーは途中で止めないでください。途中で止めると給水時間が長くなります。

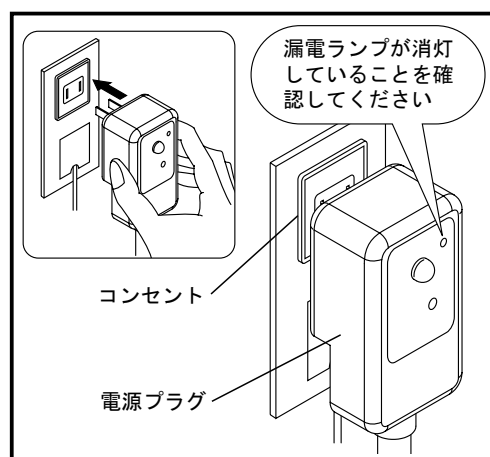


- ⑥ 出湯管からの通水状態を見て、湯槽が満水になったか確認します。
- ⑦ 満水の確認が出来たら、出湯レバーを**閉**の方向に止まるまで回し、温度調節ハンドルを**低温**に戻してください。



2. 試運転を行う

- ① 電源プラグをコンセントに差し込み、電源プラグ付属の漏電遮断機能がON (右上のランプが消灯) になっていることを確認してください。

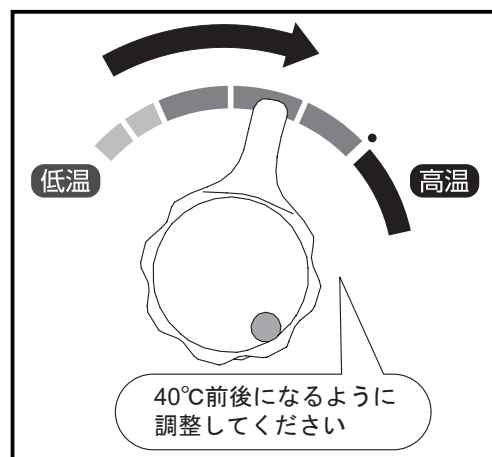
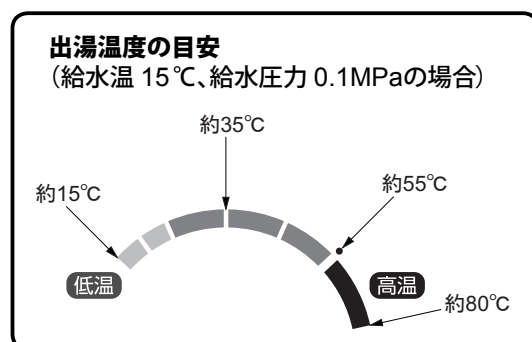


- ② 温水器の運転スイッチをONにして、通電ランプが点灯することを確認してください。
- ③ 沸かし上げが終了すると通電ランプが消灯します。(沸き上がり時間はP.25『沸き上がり時間の目安』参照)

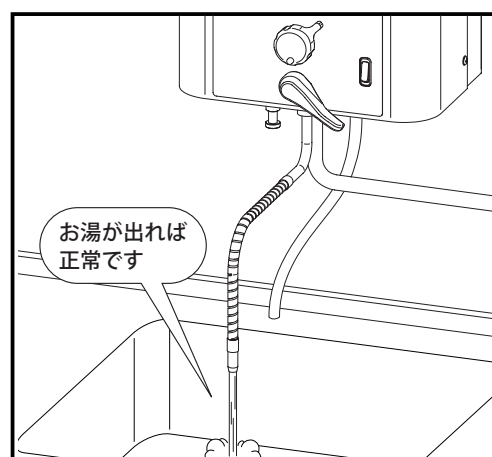
※ 沸かし上げ中はあふれ口から湯気や水滴が出ることがありますが、故障ではありません。



- ④下記『出湯温度の目安』を参考に、出湯温度が40℃前後になるよう温度調節ハンドルを調整します。

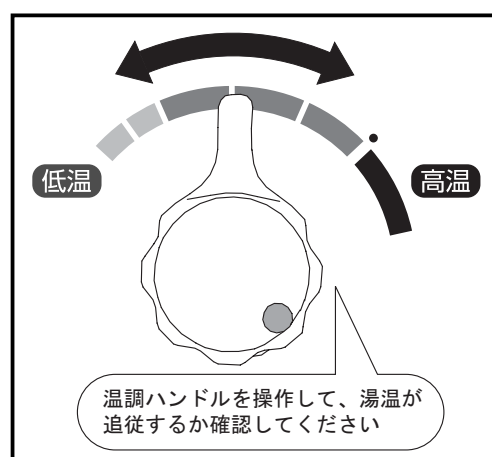


- ⑤出湯レバーを●の方向に止まるまで回し、出湯します。出湯管からお湯が出れば正常です。



- ⑥温度調節ハンドルを操作して湯温が追従することを確認出来れば正常です。

注意 確認の際には熱湯にご注意ください。
やけどの危険があります。



3. 試運転後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
漏 水	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
電 圧	定格電圧± 10% 以内ですか？	☐
給 湯	出湯レバーを開くと水やお湯が出ますか？	☐
	温度調節ハンドルを操作して出湯すると、湯温が追従しますか？	☐

以上で施工終了です。

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

⚠ 警告	
!	電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
	100V 15A 以上のコンセントを専用でお使いください。 火災のおそれがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。 火災のおそれがあります。
	排水は必ず本体の電源を切ってから行ってください。 感電のおそれがあります。
⊘	交流 100V 以外で使用しないでください。 火災、感電の原因となります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	濡れた手で電源の操作を行わないでください。 感電のおそれがあります。
🚫	給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠ 注意	
⊘	温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。飲用する場合は、必ず一度やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	出湯管の先端は絶対にふさがらないでください。また、出湯管に泡沫器具やホース・浄水器など取り付けしないでください。 あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
	あふれ口の先端は絶対にふさがらないでください。 湯槽や配管が破損して漏水や故障の原因となります。
	出湯レバーは途中で止めないでください。 あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
!	温水器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。 故障の原因となります。
	給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。 誤動作、故障の原因となります。

⚠注意



長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。
水質が悪化するおそれがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。
感電、発火のおそれがあります。

1. 使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	本体の上には物などを載せていませんか？	☐

2. 運転する

⚠注意



温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。
落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。

水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。
健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。

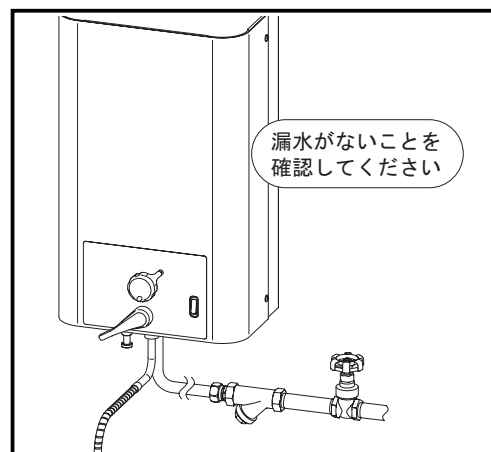
水道水に添加物を混ぜないでください。
健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。



満水にしてから通電してください。
故障の原因となります。

規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。
誤動作、故障の原因となります。

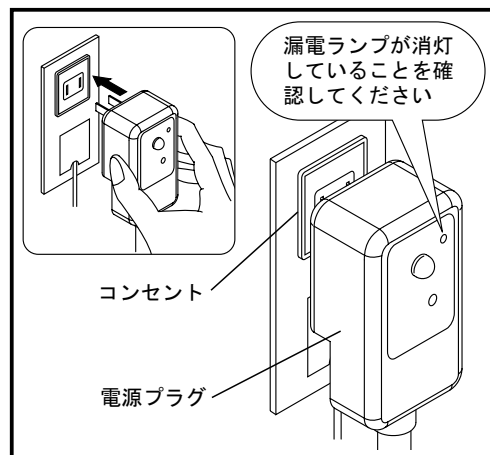
- ① P.17『温水器に給水する』を参照し湯槽に給水して、温水器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。



取扱説明

使用方法

- ②電源プラグをコンセントに差し込み、電源プラグ付属の漏電遮断機能がON(右上のランプが消灯)になっていることを確認してください。



- ③温水器の運転スイッチをONにして、通電ランプが点灯することを確認してください。
- ④沸かし上げが終了すると通電ランプが消灯します。(沸き上がり時間は下記の『沸き上がり時間の目安』参照)



※沸かし上げ中はあふれ口から湯気や水滴が出ることがありますが、故障ではありません。

沸き上がり時間の目安

項目 型番	定格電圧	貯湯量(ℓ)	標準ヒーター容量(W)	沸き上がり時間※1			連続出湯時間※
				給水温			
				5℃	15℃	25℃	
EWM-14	単相 100V	14	701	112分	98分	84分	約 11 分

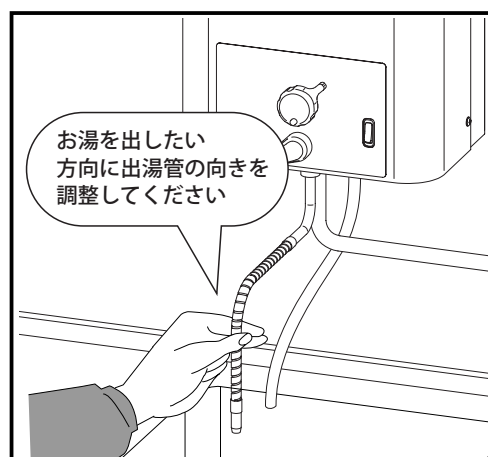
※1: 沸き上がり時間の算出: 沸き上がり温度 85℃

※2: 連続出湯量: 出湯温度 40℃、給水温度 15℃の場合

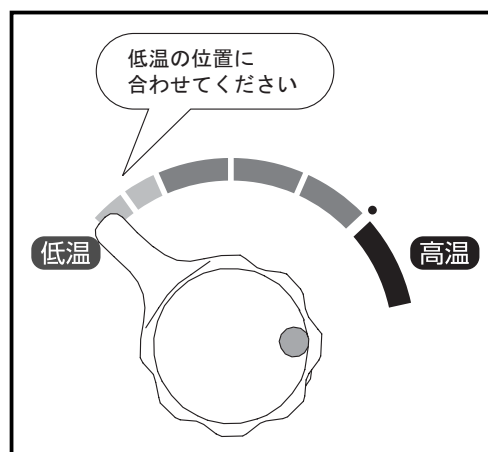
3. 出湯する

⚠ 警告	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
⚠ 注意	
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。飲用する場合は、必ず一度やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	出湯管の先端は絶対にふさがらないでください。また、出湯管に泡沫器具やホース・浄水器など取り付けしないでください。 あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
	あふれ口の先端は絶対にふさがらないでください。 湯槽や配管が破損して漏水や故障の原因となります。
	出湯レバーは途中で止めないでください。 あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。

- ① 出湯管の先端を出湯したい方向に向けます。



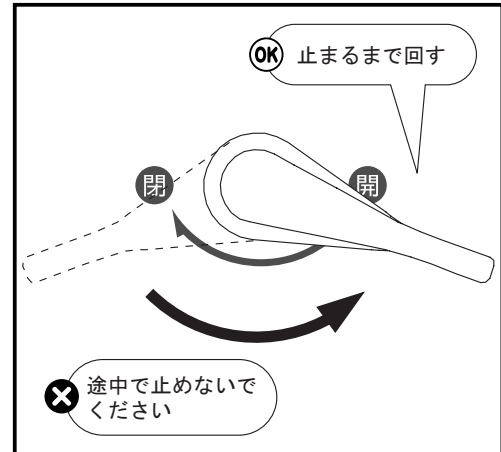
- ② 温度調節ハンドルを **低温** に合わせます。



- ③ 出湯レバーを**開**の方向に止まるまで回します。

出湯レバーについて
出湯レバーは途中で止めないでください。
途中で止めると、あふれ口から熱湯が出る
ことがあります。

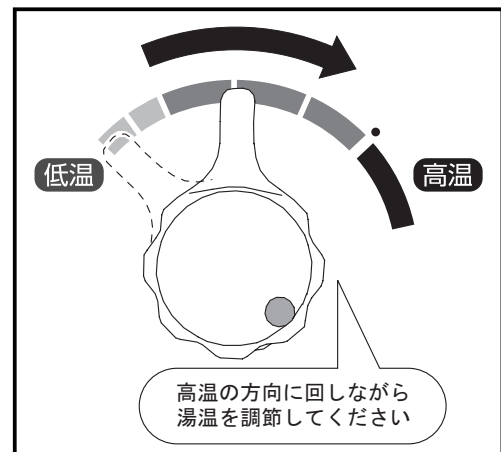
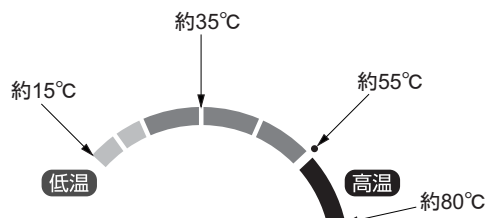
沸き上がり直後について
沸き上がり直後は設定温度に関わらず、出湯
はじめに少量のお湯が出る場合があります。



- ④ お湯を出したまま温度調節ハンドルを**高温**の方向に徐々に回し、湯温を調節しながらお使いください。

注意 確認の際には熱湯にご注意ください。
やけどの危険があります。

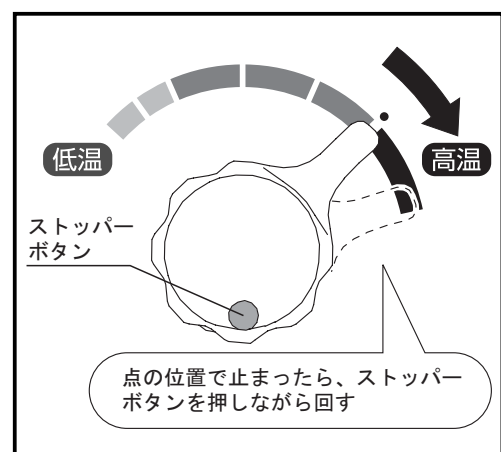
出湯温度の目安
(給水温 15℃、給水圧力 0.1MPaの場合)



高温出湯を行う場合は…

点の位置から右 (高温範囲) へはストッパーボタンを押しながら回してください。

注意 出湯後は、温度調節ハンドルを**低温**まで戻してください。
やけどの危険があります。

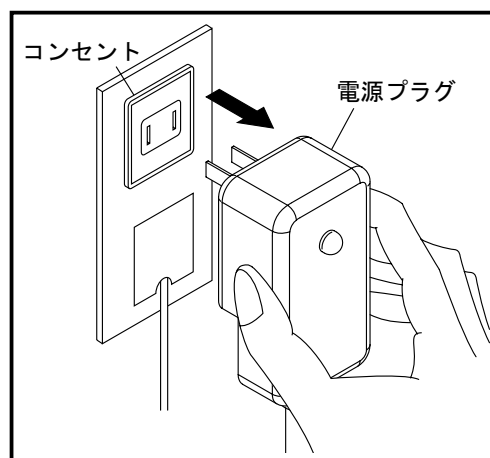


長期間使用しないときは(排水の方法)

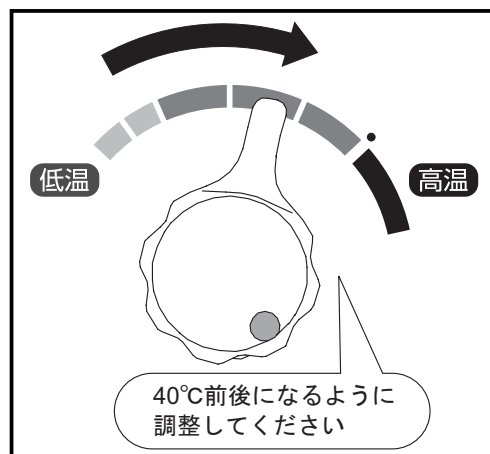
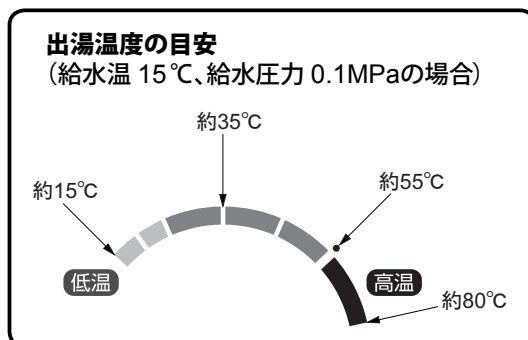
⚠警告	
	濡れた手で電源の操作を行わないでください。 感電のおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
⚠注意	
	出湯レバーは途中で止めないでください。 あふれ口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
	長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 水質が悪化するおそれがあります。
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。 感電、発火のおそれがあります。

長期間、温水器をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿って湯槽内のお湯を抜いてください。

- ① 運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。



- ② 下記『出湯温度の目安』を参考に、出湯温度が40℃前後になるよう温度調節ハンドルを調整します。

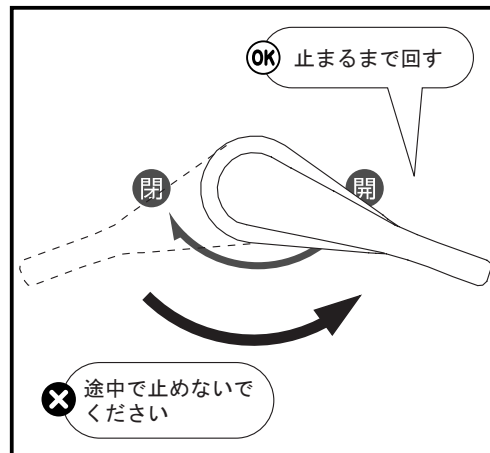


取扱説明

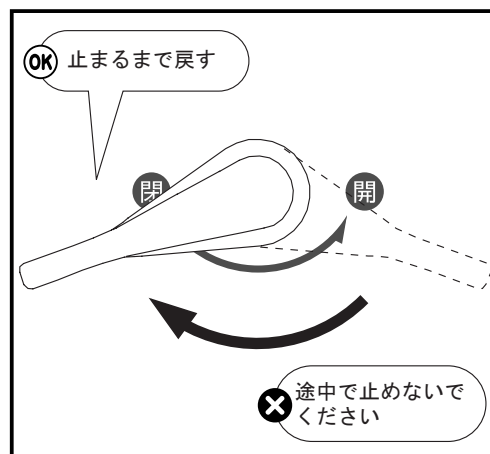
長期間使用しないときは(排水の方法)

- ③ 出湯レバーを●開●の方向に止まるまで回し、出湯します。

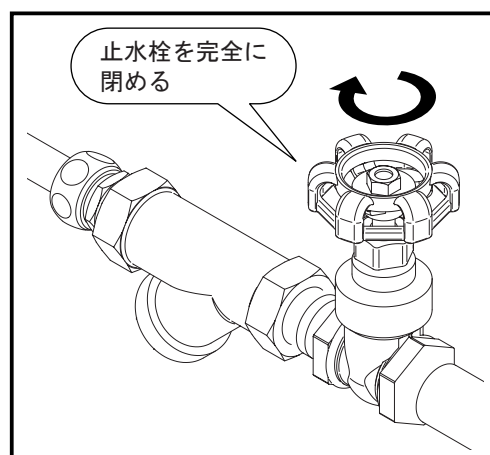
出湯レバーについて
出湯レバーは途中で止めないでください。
途中で止めると、あふれ口から熱湯が出る
ことがあります。



- ④ 出湯温度が低くなったら、出湯レバーを●閉●の方向に止まるまで戻し、止水します。



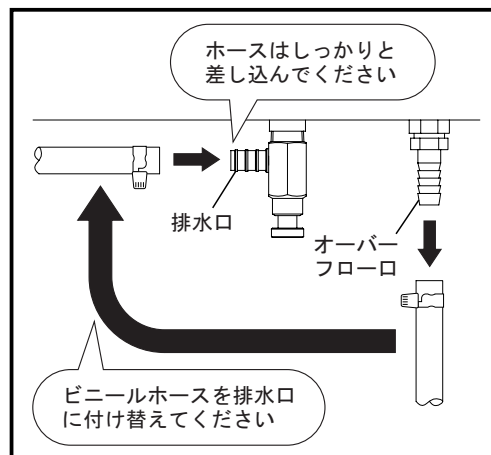
- ⑤ 止水栓を完全に閉めます。



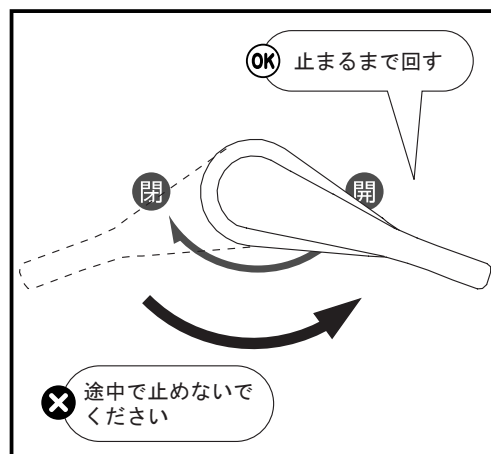
長期間使用しないときは(排水の方法)

- ⑥ビニールホースをあふれ口から排水口に付け替えます。

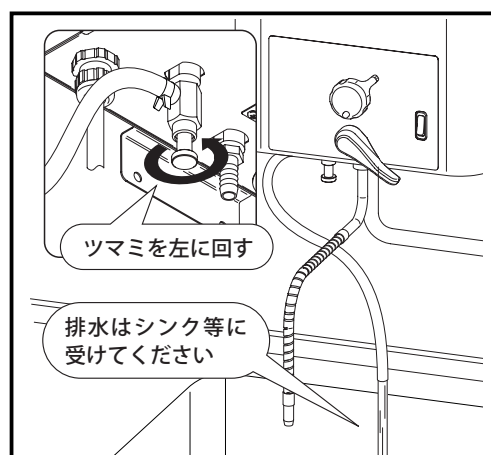
※ビニールホースの先端はシンク等に向けて接続してください。



- ⑦出湯レバーを●開●の方向に止まるまで回します。



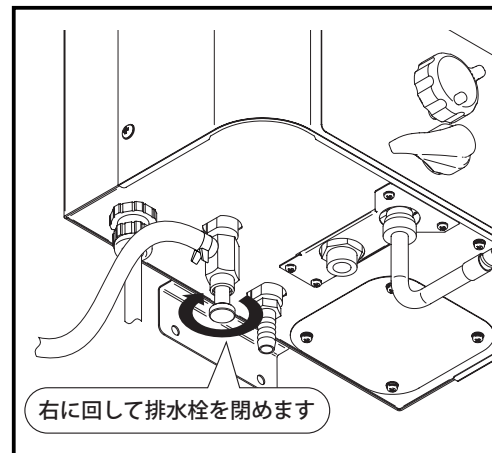
- ⑧排水栓のツマミを回して排水します。



取扱説明

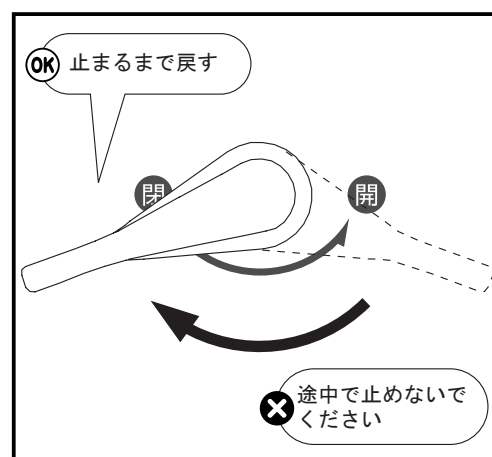
長期間使用しないときは(排水の方法)

- ⑨排水が終わったら、排水栓のツマミを回して排水口を閉めます。



- ⑩出湯レバーを●閉●の方向に止まるまで戻します。

- ⑪ビニールホースを排水口からあふれ口に戻します。



お願い

排水管は耐熱性のものを使用してください。

温度調節ハンドルを長期間動かさないと、水アカの付着などによりハンドルが動かなくなることがありますので、定期的にハンドルを動かしてください。

湯槽が空のときには運転スイッチを ON にしないでください。
故障の原因となります。

お手入れの方法

⚠警告	
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	濡れた手で電源の操作を行わないでください。 感電のおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、出湯管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずプラグ本体を持って抜いてください。 感電、発火のおそれがあります。

保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
管理技術者の方のみ 電圧の測定	定格電圧の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。過電圧はヒーター断線の原因になります。また、低電圧の場合は能力が低下します。	1回/月
管理技術者の方のみ 電流値の測定	定格電流の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
管理技術者の方のみ ヒーター絶縁抵抗測定	絶縁抵抗計(500Vメガー)にて測定、1MΩ以上あることを確認してください。	
コードおよびプラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側の漏電ブレーカおよび電源プラグ付属の漏電遮断器をOFFにし、コンセントの周りやプラグを乾いた布等で清掃してください。	
漏電遮断器の動作確認	P.33『漏電遮断器の動作確認』を参照し、漏電遮断器の動作確認を行ってください。	1回/日
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	
湯槽内部の清掃	P.17『温水器に給水する』やP.28『長期間使用しないときは(排水の方法)』を参照し、湯槽内の水を強制的に入れ替えてください。	1回/年

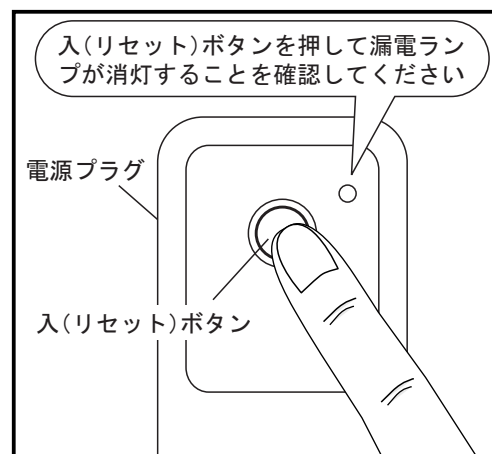
注) 長期間で使用にならない場合は凍結による湯槽の破損や水質変化防止のため、P.26『長期間使用しないときは(排水の方法)』をご参照の上、湯槽内の湯を排水してください。

漏電遮断器の動作確認

- ①アース線が切れていないか、外れていないか確認してください。
- ②漏電遮断器のテストボタンを押して、漏電ランプが点灯することを確認してください。

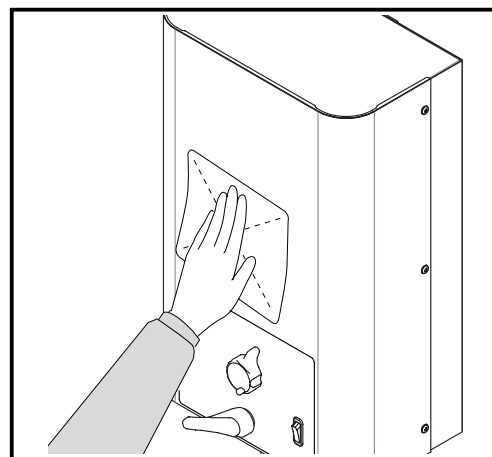


- ③リセットボタンを押して、漏電ランプが消灯することを確認してください。



外装のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



こんなときは

故障かな？と思っても実際には製品の故障でないことがありますので、修理を依頼される前に下表を参考にしてチェックしてください。

点検するときは、やけどや感電にご注意ください。

ご不明な点や不具合が見つかった場合は直ちに運転を中止し、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

状 況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	一次側の漏電ブレーカおよび電源プラグ付属の漏電遮断器がOFFまたは切になっていませんか？	一次側の漏電ブレーカがOFFの場合はONにしてください。 電源プラグ付属の漏電遮断器が切（漏電ランプ点灯）の場合は、リセットボタンを押して入（漏電ランプ消灯）にしてください。→P.33『漏電遮断器の動作確認』参照。
	電源プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。
	運転スイッチがOFFになっていませんか？	運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。 ONにしても通電ランプが点灯しない場合は、電源プラグを抜き、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	電圧が誤っていませんか？	本器を200 Vで使用すると、電源プラグ付属の過電圧保護機能が作動し、電源を遮断します。正規の電圧でご使用ください。
	ヒーターの故障ではありませんか？	ヒーターの導通を測ってください。故障の場合は、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
湯温が低いまたは沸き上がり時間が長すぎる	設定温度が低くありませんか？	温度調節ハンドルを希望の温度になるよう調整してください。
	湯を大量に使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	水温が低くありませんか？	秋から冬にかけては水温が急激に下がるため、沸き上がり時間が長くなります。→P.25『沸き上がり時間の目安』参照。
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足しているのではありませんか？	ストレーナーなどが詰まっている可能性がありますので、管理技術者の方に依頼し、清掃を行ってください。
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後などで湯槽内に配管時の油や接着剤が残っていませんか？	設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？ または断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。湯槽内の水を入れ替えてください。

取扱説明

こんなときは

状 況	ご確認ください	対処方法
あふれ口 から 水またはお湯が ずっと出ている	出湯レバーが途中で止まっていますか？	途中で止まっている場合は「開」「閉」 どちらかにレバーを動かしてください。
	出湯管から出る水またはお湯の量が少なくありませんか？	出湯管が詰まっている可能性がありますので、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
漏水している	本体からですか？	止水栓を閉め、一次側の漏電ブレーカをOFFにしてください。 裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各配管接続部を締め直してください。
給水時に温水器 本体や配管が振 動音を発する	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか、配管支持がされていないのではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水抵抗を少なくするよう、曲げ方を工夫してください。
	給水圧力が高くありませんか？	給水圧力が0.5MPaを超える場合は、弊社関連商品『一軸減圧弁いちじく (iJG-K)』を必ず取付けてください。

その他の不具合について

その他の不具合は、P.37の故障状況シートをFAXいただくか、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

アフターサービス

消耗品の定期交換について

下記に記載の部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照) 交換(有償)、購入のご依頼は弊社フロント課もしくは裏表紙に記載の最寄りの地区販売会社にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
パッキン類	設置、交換日より5年	長期間で使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。(※水道水中のミネラル分が固着したもの。)
ヒーター		
ビニールホース		

※上記以外でもパッキン類や電気部品交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.37の故障状況シートをコピーして必要事項にご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

※保証票は製品底面に貼付けてあります。

/TOMIC 壁掛貯湯電気温水器(元止式)			
型番	EWM-14	0000000	屋内用
最高使用圧力	0MPa		
定格電圧	AC100V		
定格周波数	50/60Hz		
定格消費電力	701W		
保証期間	納入後1年間		
製造番号	0000000000-000		
株式会社日本イトミック		BD10065-0	

(株)日本イトミック フロント課 FAX 03-3621-2163
TEL 03-3621-2161

※もしくは裏表紙に記載の最寄り地区販売会社へご連絡ください。

アフターサービス

故障状況シート			
貴 社 名		ご担当者名	
ご 住 所			
T E L		F A X	
製 品 型 番	EWM-14		
電源、電力	単相 100V 701W	製 造 番 号	
設 置 場 所		保 証 期 限	
状 態			

アドバイス&メンテナンス

データベース管理と専門技術で安心、快適のサポート。

お買い上げいただいた機器はすべてデータベースに登録。定期点検の時期などを的確に管理し、豊富な経験と優れた技術を兼備した専門スタッフが責任をもってサポートいたします。イトミック製品を安心してお使いいただくとともに快適な温水環境をお届けするため、アドバイスとメンテナンスを心を込めて提供いたします。

アフターサービス(最寄りのイトミック製品販売拠点へ)

一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)
0570-011039
市内通話料でOK
ナビダイヤル®
携帯電話・PHS・IP電話の場合: 03-3621-2161
※お電話の前に型番・製造番号をご確認ください。

メンテナンス契約

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社フロント課までご連絡ください。また、部品のご注文もフロント課で承っています。

TEL : 03-3621-2161(代)
FAX : 03-3621-2163

24時間サービス体制

夜間専用電話 : 東京 03-3621-2161

● ISO9001 認証取得 ● 経済産業省電気用品製造事業届出工場 ● 日本水道協会検査委託登録工場 ● 日本電気工業会正会員 ● 日本ボイラ协会会员 ● 建設業許可

株式会社 日本イトミック

営業本部

〒 130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル
TEL 03 (3621) 2121 (大代表) FAX 03 (3621) 2130

フロント課(保守、部品、修理)

TEL 03 (3621) 2161 (代表) FAX 03 (3621) 2163

本社工場

〒 143-0002 東京都大田区城南島 4-6-8
TEL 03 (3799) 7311 (代表) FAX 03 (3799) 7310

ホームページ <http://www.itomic.co.jp/>

《地区販売会社、営業所》

北海道地区	●(株)北海道イトミック	〒 063-0801 札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10(ラポール 24 軒 2 号館)	TEL 011 (615) 6681(代) FAX 011 (615) 7004
東北、新潟地区	●(株)東北イトミック	〒 981-3125 仙台市泉区みずほ台 4-3	TEL 022 (773) 6161(代) FAX 022 (773) 6213
中部、北陸地区	●(株)中部イトミック	〒 460-0002 名古屋市中区丸の内 1-4-12(アレックスビル 3F)	TEL 052 (222) 2561(代) FAX 052 (222) 2559
近畿地区	●関西イトミック(株)	〒 541-0041 大阪市中央区北浜 3-7-12(東京建物大阪ビル)	TEL 06 (6226) 0800(代) FAX 06 (6226) 0802
中国、四国地区	●(株)中国イトミック	〒 730-0051 広島市中区大手町 1-7-12(徳永ビル)	TEL 082 (240) 1361(代) FAX 082 (240) 1363
九州、沖縄地区	●(株)九州イトミック	〒 812-0007 福岡市博多区東比恵 3-28-5	TEL 092 (481) 3911(代) FAX 092 (481) 3930